

ヤブムラサキの一新品種

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2019-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055646

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



Sigeki Nanko* and Nobuyuki Fukuoka** : A New Form of *Callicarpa mollis* Sieb. et Zucc. (Verbenaceae)

南光重毅*・福岡誠行** : ヤブムラサキの一新品種

Abstract

A new form of *Callicarpa mollis* is described from Mikuma-yama, Sumoto City, Hyogo Prefecture. It is characteristic of white fruit and white corolla.

Key word: *Callicarpa mollis* forma *albifructa*.

In 1992 one of the authors, Nanko, found a shrub of *Callicarpa mollis* in Mikuma-yama, Sumoto City, Hyogo Prefecture, bearing white fruits instead of ordinarily purple ones. In the genus *Callicarpa*, fruits are purple in general, though white fruits are known also in *C. japonica* and *C. dichotoma*. In *C. mollis*, no white fruits have been reported yet. We made an observation of this shrub for one year and here we describe it as a new form of *C. mollis*.

***Callicarpa mollis* Sieb. et Zucc. forma *albifructa* Nanko, forma nov. (Fig. 1)**

Frutex 1.6 m altus. Ramus dense stellato-pilosus. Folia ovata, ovato-elliptica vel late lanceolata, 2.5 - 10.2 cm longa, 1.8 - 3.3 cm lata, supra dense pilosa, infra dense stellato-pilosa. Calyx dense stellato-pilosus, lobi elliptici apice rotundati, 3 mm longi, 2.5 mm lati. Carpi albi lucidi, glabri, 6 - 7 mm in diametro. Putamen ellipticum, extra convexum, intra concavum.

Nom. Jap. Shiromino-yabumurasaki.

Hab. Honshu. Pref. Hyogo: Mikuma-yama, Sumoto City, S. NANKO (Nov. 10, 1993, **HOLOTYPE** in KYO, Isotypus in Shoei Junior College); I.c., S. NANKO (June 5, 1993).

Based on a flowering specimen (S. NANKO, June 5) taken from a type shrub, the features of flower are described as follows: calyx pale



Fig. 1. Living material of holotype specimen in *C. mollis* forma *albifructa* (part).

green, densely with white stellate hairs and variously branched ones; corolla white, tube 3 mm long, with lobes 4 in number, 2 mm long, 2 mm broad, orbicular; filaments white, 6 mm long;

*3-4-13 Uyama, Sumoto 656, Japan 〒 656 洲本市宇山3丁目4-13

**Shoei Junior College, 1 Mikageyamate, Higashinada-ku, Kobe 658, Japan 〒 658 神戸市東灘区御影山手1 頤栄短期大学保育科

anther yellow; ovary pale green; style white.

Young branch is pale green in *f. albifructa* and purplish in *f. mollis*. Colour of corolla is white in the former and purple inside in the latter. In *f. albifructa* filament is white, though it is purplish in *f. mollis*. The ovary and style of both are similar in colour.

摘 要

1992年、筆者の一人南光は兵庫県洲本市の三熊山で白い実をつけたヤブムラサキがあることに気づき、この1年間観察を続けてきた。実が白いだけでなく、枝、花冠などにも紫色の色素がない。三熊山

ではヤブムラサキは常緑樹林が攪乱されたところが多く、石垣の間にも生えている。周辺を調べたが白い実のヤブムラサキは1本しかみつかっていない。

三熊山は洲本市市街地の南にある小丘陵地である。室町時代後期、1520年前後に安宅氏一族によって築城され始めた山城があるところで、白実のヤブムラサキはこの城郭の中にある。

ムラサキシキブやコムラサキシキブにはすでに白実の品種が記載されている。ところがヤブムラサキではまだ報告されていないので、新品種シロミノヤブムラサキとして発表する。

(received December 20, 1993; accepted March 10, 1994)

○塚本洋太郎(総監修)コンパクト版園芸植物大辞典(1, 2および用語・索引全3冊セット)B5判, 3099+589頁。1994年4月20日, 小学館, 39,000円(1994年7月末日まで), 42,000円。

「園芸植物大辞典」(全6巻)は、1990年に完結したが、一般には使いづらい面もあったため、使用に便利小型化を求める声が強かった。その要望に応じて新たに出版されたのが、このコンパクト版である。コンパクト版は、紙面を縮小してB5判に改め、紙質を変え、若干のカラー写真をより精確なものに取り替えただけで、内容は全く変えずに元版の1~5巻を2巻にまとめ、別巻に用語・索引を加えて全3巻となった。特筆すべきは、コラム記事として(1)ツンベリ著「日本植物誌」の学名(大場秀章)、(2)アブラナ科栽培植物の学名(大場秀章)、(3)右巻きと左巻き(村田源)、(4)オウゴンカズラ(堀田満)が加わったことである。最近、Thunbergの命名による種名の表しかたが、Thunb. ex Murrayとするものが多く見かけるようになったが、その理由や命名者名を変更すべき種名の一覧が(1)の記事に掲載されている。私は、早速ナギナタコウジュの学名は *El-scholtzia ciliata* (Thunb. ex Murray) Hyland. とすべきことを確かめた。コンパクト版も利用価値は高い。

(清水建美)

○石沢進(編集)新潟: 弥彦連山の植物(弥彦連山植物資料集)第1集 A4判, 73頁。1994年1月15日, 弥彦村教育委員会(新潟県西蒲原郡弥彦村矢作)。非売品。

編者をはじめとする新潟県在住の植物研究者の弥彦連山の植物の研究には伝統がある。このほど、弥彦山の山頂に以前の新潟大学理学部付属夜光観測施設を譲り受け、同弥彦植物調査施設が開設されたのを機に、この資料集が出版されることになった。編者によると、これまでの弥彦連山についての文献や資料を掲載すると共に、新しい知見を加えて引き続き出版される由である。この第1集には、「弥彦連山における稀産種の分布と現状 ギンメイタク、オオバキスミレ」(長島義介)、「弥彦山頂におけるフェノロジー(1)タニウツギ」(石沢進)ほか6篇の記事が収められ、後半には「弥彦連山植物分布図集(1)」として、ウマノアシガタ・ハルユキノシタ・ハグロソウ・アズマギヤ・シラスゲ・ホソバオキナゴケの弥彦連山における水平分布および垂直分布が標本データとともに示されている。この地域における植物の分類と分布に関する細密な研究が新たに発足したのである。本資料集の末永い出版を期待したい。

(清水建美)

○池上義信(監修)石沢進(編集)新潟県植物分布図集 第14集 A4判, 101頁。1993年12月25日, 植物同好じねんじょ会, 3,000円, 単別。

この分布図集は、1980年12月に第1集が出版されて以来、毎年1冊のペースで着実に出版を重ね1993年12月で14集を数え、発表された分布図は1100種となった。本書には、No.1076 イヌシダから No.1100 イチョウゴケまでの25種が収められている。まとまった府県単位の植物分布図集としては日本最初であり最高のものであるというたい文句は、正真正銘のものである。入手希望者は、コーエイ印刷KK(新津市弁天橋通1-31-30)に申し込まれたい。

(清水建美)